

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(6年度目) 振替地区分

【経営体育成交付金からの振替地区】

都道府県名	市町村名	地区名	承認年度	目標年度
北海道	幕別町	幕別町	平成22年度	平成26年度

I 意欲ある多様な経営体の育成・確保に関する成果目標

(単位:経営体、人、人・日)

成果目標項目	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)						6年度目 達成状況 (%)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	6年度目	
① 農業の6次産業化(経営体数)	/								
経営面積の拡大(経営体数)	/	4	3 2	3 4	3 4	4 4	4 4	目標年度 に達成	目標年度 に達成
② うち耕作放棄地の解消	/								
農業経営の法人化(経営体数)	/								
③ うち集落営農組織	/								
④ 新規作物の導入(経営体数)	/	8	8 6	8 6	8 7	8 8	8 8	目標年度 に達成	目標年度 に達成
⑤ 農産物の品質向上(経営体数)	/	193	175 20	191 72	193 179	193 18	193 183	193 189	97.9% (概ね達成)
⑥ 生産コストの縮減(経営体数)	/	197	178 144	194 131	197 138	197 138	197 142	197 142	72.1%
⑦ 集落営農組織の育成(経営体数)	/								
新規就農者の育成・確保(人)	/	1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度 に達成	目標年度 に達成
⑧ うち青年認定就農者	/	1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度 に達成	100.0%
⑨ 雇用者の確保(人・日)	/	2,160	840 840	960 1,961	1,440 2,707	1,680 3,823	2,160 3,905	目標年度 に達成	180.8%
⑩ (地域提案目標①) 家族経営協定	15	24	18 24	23 24	24 24	24 24	24 24	目標年度 に達成	100.0%
⑪ (地域提案目標②) 環境への配慮	0	206	194 194	206 206	206 206	206 206	206 206	目標年度 に達成	100.0%

II 対象経営体の経営改善目標

No	対象経営体名	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)						6年度目 達成状況 (%)
					1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	6年度目	
1		【新規作物の導入】 飼料作物(牧草)の導入 (ha)	0	30	0 0	30 57	30 57	30 57	30 57	目標年度 に達成	目標年度 に達成

1	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	68	75	75	75	75	75	75	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
2	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	64	71	71	71	71	71	71	71	342.9%
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
3	【新規作物の導入】 人参の導入(ha)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	84	87	87	87	87	87	87	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
4	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	72	79	79	79	79	79	79	79	200.0%
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
5	【生産コストの縮減】 搾乳作業の効率化により、作業時間短縮する (1頭当り搾乳時間:分)	5.5	5.0	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	目標年度に達成	目標年度に達成
	【雇用者の確保】 増頭による雇用者1名を 通年で受入れる(人・日)	0	240	0	0	240	240	240	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

6	【農産物の品質向上】 適期収穫による豆類の品質向上 (豆類の製品率向上:%)	84	92	92 75	92 81	92 93	92 92	92 92	目標年度に達成	目標年度に達成
	てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,167	1,307	1,307 1,181	1,307 1,124	1,307 1,251	1,307 766	1,307 1,365	目標年度に達成	目標年度に達成
	圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	71 71	78 64	78 93	78 78	78 85	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 豆類の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	8	7	7 7	7 7	7 7	7 7	7 7	目標年度に達成	目標年度に達成
	てん菜の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	10	9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	目標年度に達成	目標年度に達成
	排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	70 70	60 60	60 60	60 60	60 60	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
7	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	67	74	74 74	74 63	74 89	74 82	74 80	目標年度に達成	目標年度に達成
	てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,243	1,393	1,243 1,243	1,243 1,243	1,393 1,243	1,393 0	1,393 0	1,393 0	-828.7%
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60 60	60 60	60 60	60 60	60 60	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
8	【生産コストの縮減】 堆肥の製造による肥料費の縮減 (10a当り肥料費:円)	11,677	11,327	11,327 9,146	11,327 9,435	11,327 12,343	11,327 11,369	11,327 10,128	目標年度に達成	目標年度に達成
	【雇用者の確保】 雇用者1名を通年で受入れる(人・日)	0	240	240 240	240 240	240 240	240 240	240 240	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成

9	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	77	82	82	82	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	120	100	100	100	100	100	100	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
10	【農産物の品質向上】 野菜苗の定植姿勢改善による品質向上 (野菜の製品率向上:%)	81	83	83	83	83	83	83	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 定植作業と補植作業の労働時間短縮 (10a当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
11	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	74	81	81	81	81	81	81	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	4,500	4,230	4,230	4,230	4,230	4,230	4,230	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
12	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,159	1,298	1,298	1,298	1,298	1,298	1,298	1,298	4.3%
	適期散布と高い防除効果による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	71	71	78	78	78	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 てん菜の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	10	9	9	9	9	9	9	目標年度に達成	目標年度に達成
	低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	4,697	4,410	4,697	4,697	4,410	4,410	4,410	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

13	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	83	86	86	86	86	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	4,432	4,160	4,432	4,160	4,160	4,160	4,160	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
14	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	78	78	78	78	78	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
15	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	86	86	86	86	86	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
16	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	77	82	82	82	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	5,584	5,240	5,240	5,240	5,240	5,240	5,240	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
17	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	77	82	82	82	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

18	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	978	1,095	978 873	1,095 1,181	1,095 1,056	1,095 662	1,095 1,221	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 てん菜の移植作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	7	6	7 7	6 7	6 6	6 6	6 6	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
19	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	627	702	702 628	702 1,061	702 844	702 545	702 1,204	目標年度に達成	目標年度に達成
	【家族経営協定】 家族経営協定の締結(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
20	【新規作物の導入】 生食スイートコーンの導入(ha)	0	1	1 0.5	1 0.8	1 1.6	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮(ha当り作業時間:分)	80	70	70 70	70 70	70 70	70 70	70 70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
21	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	80	83	83 72	83 77	83 91	83 81	83 89	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮(ha当り作業時間:分)	80	70	70 70	70 70	70 70	70 70	70 70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成

22	【農産物の品質向上】 適期収穫による豆類の品質向上 (豆類の製品率向上:%)	90	93	93	93	93	93	93	目標年度に達成	目標年度に達成
				93	85	96	93	93		
	適期散布と高い防除効果による品質向上、圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	81	84	81	84	84	84	84	目標年度に達成	目標年度に達成
				81	84	94	82	92		
	【生産コストの縮減】 豆類収穫に係るコントラ利用料の縮減 (10a当り利用料金:円)	7,000	0	0	0	0	0	0	目標年度に達成	目標年度に達成
				0	0	0	0	0		
23	低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	6,517	6,120	6,517	6,120	6,120	6,120	6,120	目標年度に達成	目標年度に達成
				6,517	6,120	6,100	6,100	6,100		
	排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	80	80	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
				80	80	70	70	70		
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
				1	1	1	1	1		
24	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	73	80	80	80	80	80	80	目標年度に達成	目標年度に達成
				84	90	93	81	88		
	条間除草と中耕作業の改善による品質向上 (豆類の製品率向上:%)	91	94	94	94	94	94	94	目標年度に達成	目標年度に達成
				94	92	95	95	95		
24	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布及び機械除草による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	3,395	3,190	3,190	3,190	3,190	3,190	3,190	目標年度に達成	目標年度に達成
				3,190	3,200	3,190	3,190	3,190		
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
				1	1	1	1	1		
24	【新規作物の導入】 豆類の導入(ha)	0	10	10	10	10	10	10	目標年度に達成	目標年度に達成
				10	21	15	18	15		
	なたねの導入(ha)	0	1	0	0	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
				0	0	0	1	2		
	【生産コストの縮減】 馬鈴しよの収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	18	16	18	16	16	16	16	目標年度に達成	目標年度に達成
				18	16	16	16	16		
24	【雇用者の確保】 新規作物導入による雇用者1名を通年で受入れる(人・日)	240	480	480	480	480	480	480	目標年度に達成	目標年度に達成
				480	480	240	480	480		
24	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
				1	1	1	1	1		

25	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	70	77	77	77	77	77	77	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
26	【農産物の品質向上】 播種床の団粒構造改善、圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	86	86	86	86	86	目標年度に達成	目標年度に達成
	長芋の収穫改善による品質向上 (長芋の製品率向上:%)	75	78	78	78	78	78	78	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 長芋の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	32	30	30	30	30	30	30	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
27	【農産物の品質向上】 適期収穫による牧草の品質向上 (栄養成分の向上:%)	59	62	62	62	62	62	62	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 牧草の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	22	20	20	20	20	20	20	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
28	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	68	75	75	75	75	75	75	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
29	【農産物の品質向上】 適期収穫による牧草の品質向上 (栄養成分の向上:%)	58	61	61	61	61	61	61	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 牧草の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	200	180	180	180	180	180	180	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

30	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	86	86	86	86	86	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
31	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	74	81	81	81	81	81	81	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
32	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	78	78	78	78	78	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
33	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	79	82	79	79	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
34	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	74	81	74	81	81	81	81	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	7,169	6,730	7,169	6,730	6,730	6,730	6,730	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

35	【農産物の品質向上】 馬鈴薯の収穫技術向上による品質向上 (馬鈴薯の製品率向上:%)	67	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
				70	70	70	70			
	播種床の団粒構造改善による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	77	82	77	82	82	82	82	82	200.0%
				77	82	89	77	79	87	
	てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	832	932	832	832	932	932	932	目標年度に達成	目標年度に達成
				832	832	938	538	1,017		
【生産コストの縮減】 馬鈴しよの収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	18	16	16	16	16	16	16	目標年度に達成	目標年度に達成	
			16	16	16	16	16			
てん菜の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	10	9	10	10	9	9	9	目標年度に達成	目標年度に達成	
			10	10	9	9	9			
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成	
			1	1	1	1	1			
36	【農産物の品質向上】 馬鈴薯の収穫技術向上による品質向上 (馬鈴薯の製品率向上:%)	73	76	76	76	76	76	76	目標年度に達成	目標年度に達成
				76	76	76	76	76		
	圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	76	82	82	82	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
				78	72	92	78	89		
	【生産コストの縮減】 馬鈴しよの収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	18	16	16	16	16	16	16	目標年度に達成	目標年度に達成
				16	16	16	16	16		
【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	目標年度に達成	目標年度に達成	
			60	60	60	60	60			
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成	
			1	1	1	1	1			
38	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	75	82	82	82	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
				60	58	88	75	91		
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	目標年度に達成	目標年度に達成
60				60	60	60	60			
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成	
			1	1	1	1	1			

39	【新規作物の導入】 人参の導入 (ha)	0	2	2	2	2	2	2	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度 に達成	目標年度 に達成
				2	2	3.5	4	5		
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成	
			1	1	1	1	1			
40	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上によ る品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	970	1,086	1,086	1,086	1,086	1,086	1,086	目標年度 に達成	目標年度 に達成
				944	1,023	1,043	609	1,092		
	【生産コストの縮減】 てん菜の中耕作業労働時間 の短縮 (ha当り作業時間:分)	90	80	80	80	80	80	80	目標年度 に達成	目標年度 に達成
80				80	80	80	80			
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成	
			1	1	1	1	1			
41	【新規作物の導入】 キャベツの導入 (a)	0	20	20	20	20	20	20	目標年度 に達成	目標年度 に達成
				45	100	173	150	180		
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度 に達成	目標年度 に達成
70				70	70	70	70			
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成	
			1	1	1	1	1			
42	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果に よる品質向上 (小麦の製品率向上:%)	78	82	82	82	82	82	82	82	375.0%
				76	79	92	85	73		
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬 費の縮減 (10a当り農薬費:円)	6,306	5,920	5,920	5,920	5,920	5,920	5,920	目標年度 に達成	目標年度 に達成
4,920				1,938	5,340	5,952	5,900			
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成	
			1	1	1	1	1			
43	【農産物の品質向上】 小麦の適期播種による品質 向上 (小麦の製品率向上:%)	76	82	82	82	82	82	82	目標年度 に達成	目標年度 に達成
				82	87	94	81	84		
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度 に達成	目標年度 に達成
70				70	70	70	70			
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成	
			1	1	1	1	1			

53	【農産物の品質向上】 適期収穫による小麦の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	76	82	76	82	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの削減】 収穫労働時間の短縮による 生産コストの低減 (ha当りオペレーター賃金: 円)	5,513	5,230	5,513	5,230	5,230	5,230	5,230	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
54	【農産物の品質向上】 適期収穫による小麦の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	74	81	81	81	81	81	81	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの削減】 収穫労働時間の短縮による 生産コストの低減 (ha当りオペレーター賃金: 円)	4,582	4,350	4,350	4,350	4,350	4,350	4,350	4,350	-40.5%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
55	【農産物の品質向上】 適期収穫による小麦の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	78	82	82	82	82	82	82	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの削減】 収穫労働時間の短縮による 生産コストの低減 (ha当りオペレーター賃金: 円)	5,661	5,370	5,370	5,370	5,370	5,370	5,370	5,370	-365.6%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
56	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による 品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,051	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	-5.6%
	【生産コストの削減】 収穫労働時間の短縮による 生産コストの低減 (10a当りオペレーター賃金: 円)	5,800	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
57	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による 品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,055	1,181	1,055	1,181	1,181	1,181	1,181	1,181	249.2%
	【雇用者の確保】 雇用者を延べ240人を新たに 受入れる(人・日)	0	240	120	240	240	240	240	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実 施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

58	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による粗飼料の品質向上 (栄養成分の向上:%)	56	59	59	59	59	59	59	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
59	経営面積の拡大 [利用権の設定等により経営面積を拡大する](ha)	17.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	目標年度に達成	目標年度に達成
	生産コストの縮減 [労働時間の短縮] (10a当り堆肥散布時間:分)	20	16	16	16	16	16	16	目標年度に達成	目標年度に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
60	農産物品質の向上 [適期刈取り、乾燥による品質向上] (小麦フォーリングナンバー向上:秒)	231	300	300	300	300	300	300	目標年度に達成	目標年度に達成
	生産コストの低減 [種子の貯蔵コスト低減] (貯蔵料の削減:千円)	157	0	100	50	0	0	0	目標年度に達成	目標年度に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
61	生産コストの縮減 [労働時間の短縮による生産コストの縮減] (ha当り耕起作業時間:分)	100	85	100	100	85	85	85	目標年度に達成	目標年度に達成
	家族経営協定 [家族経営協定の締結] (実施:1)	0	1	0	0	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
62	経営面積の拡大 [利用権の設定等により経営面積を拡大する](ha)	36.2	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	目標年度に達成	目標年度に達成
	生産コストの縮減 [労働時間の短縮による生産コストの縮減] (ha当り耕起作業時間:分)	100	90	90	90	90	90	90	目標年度に達成	目標年度に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

63	農産物品質の向上 [砕土による良好な播種床の 造成による品質向上] (馬鈴薯の製品率向上:%)	58.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	生産コストの縮減 [労働時間の短縮による生産コ ストの縮減] (ha当り整地作業時間:分)	150	120	120	120	120	120	120	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実 施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成
64	農産物品質の向上 [適期刈取り・乾燥による品 質向上] (小麦フォーリングナンバー向上: 秒)	275	300	300	300	300	300	300	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	生産コストの縮減 [労働時間の短縮による生産コ ストの縮減] (1t当り小麦張込・排出作業時間:分)	17	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実 施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成
65	農産物品質の向上 [適期刈取り・乾燥による品 質向上] (小麦フォーリングナンバー向上: 秒)	154	300	154	300	300	300	300	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	生産コストの縮減 [労働時間の短縮による生産コ ストの縮減] (1t当り小麦張込・排出作業時間:分)	14	12.5	14	12.5	12.5	12.5	12.5	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実 施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成
66	経営面積の拡大 [利用権の設定等により経営 面積を拡大する](ha)	42.1	44.6	44.6	44.6	44.6	44.6	44.6	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	生産コストの縮減 [労働時間の短縮による生産コ ストの縮減] (ha当り耕起作業時間:分)	100	80	80	80	80	80	80	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実 施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成
67	新規作物の導入 [スイートコーン、いんげん等 野菜の導入](a)	0	2	2	2	2	2	2	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	家族経営協定 [家族経営協定の締結] (実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実 施](実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度 に達成	目標年度 に達成

68	農産物品質の向上 [牧草の適期収穫・調整による品質向上] (TDN含有率向上:%)	58.5	61.5	61.5 64.2	61.5 58.7	61.5 61.1	61.5 57.6	61.5 64.9	目標年度に達成	目標年度に達成
	生産コストの縮減 [労働時間の短縮による生産コストの縮減] (ha当り牧草調製作業時間:時間)	6	4.8	4.8 3.1	4.8 1.2	4.8 1.2	4.8 1.0	4.8 0.8	目標年度に達成	目標年度に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実施](実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
69	農産物品質の向上 [野良いも除去による品質向上] (馬鈴薯製品率向上:%)	81.9	84.9	84.9 87.8	84.9 83.5	84.9 80.5	84.9 81.3	84.9 77.5	84.9 84.1	73.3%
	家族経営協定 [家族経営協定の締結] (実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
	環境への配慮 [点検シートによる点検の実施](実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
70	【農産物の品質向上】 バンカーサイロの新設によるサイレージの品質向上 (粗飼料の栄養成分(TDN)向上:%)	56	59	56 56	59 59	59 59	59 57	59 59	目標年度に達成	目標年度に達成
	【雇用者の確保】 雇用者を延240日新たに受入れる(人・日)	0	240	0 0	0 574	0 626	240 591	240 576	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
71	【農産物の品質向上】 原料の貯蔵条件、選果効率の向上による品質向上(ゆり根の製品化率向上:%)	80	85	80 80	80 82	85 90.4	85 95	85 98	目標年度に達成	目標年度に達成
	【家族経営協定】 家族経営協定の締結 (実施:1)	0	1	0 1	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成
72	【経営面積の拡大】 利用権の設定等により経営面積を拡大する(ha)	220.66	240.66	220.66 220.66(4戸)	220.66 272.4	220.66 290.2	240.66 319.63	240.66 324.05	目標年度に達成	目標年度に達成
	【雇用者の確保】 雇用者を延720日新たに受入れる(人・日)	1,680	2,400	1,680 1,680	1,680 2,227	1,920 2,961	2,160 3,472	2,400 3,569	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	目標年度に達成	目標年度に達成

73	【家族経営協定】 新たに締結(実施:1)	0	1	0	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産性コストの縮減】 農薬代の縮減(千円)	3,216	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	-881.9%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
74	【農産物の品質向上】 麦の製品化率向上(%)	78	85	85	85	85	85	85	目標年度に達成	目標年度に達成
	【家族経営協定】 新たに締結(実施:1)	0	1	0	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
75	【家族経営協定】 新たに締結(実施:1)	0	1	0	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【新規作物の導入】 ブロッコリーの作付導入(a)	0	10	10	10	10	10	10	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
76	【家族経営協定】 新たに締結(実施:1)	0	1	0	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成
	【生産性コストの縮減】 作業効率の改善 (耕土作業:a/hr)	5	10	5	8	10	10	10	目標年度に達成	目標年度に達成
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	目標年度に達成	目標年度に達成

Ⅲ 集落営農組織における農産物の共同販売経理状況

No	対象経営体名	共同販売経理 開始予定年月 (計画時)	実施状況(年月日)

IV 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

○経営面積の拡大の取組では、4経営体で目標を設定しており、全経営体で目標年度に目標を達成している。

○新規作物の導入の取組では、8経営体で目標を設定しており、全経営体で目標年度に目標を達成している。

○農産物の品質向上の取組では、193経営体(8営農集団142経営体含む)で目標を設定しており、183経営体(6営農集団139経営体含む)で目標年度に目標を達成している。

平成27年度では、目標年度に目標未達成となった10経営体(2営農集団3経営体含む)のうち、6経営体(1営農集団1経営体含む)で目標を達成し、成果目標を概ね達成することができた。目標達成要因としては、小麦の製品率の向上を目標として設定した5経営体は好天に恵まれ、小麦の登熟期間も確保されたことから、高収量となり、製品歩留まりも良かったため、てん菜の糖量の向上を目標として設定した1経営体(1営農集団1経営体)は、日甜や農業改良普及センター等が主体となって、排水対策など品質向上に向けた技術指導等を実施し、好天にも恵まれ、生育も良好だったためである。

平成27年度でも目標未達成となった経営体は4経営体(1営農集団2経営体含む)で、てん菜の糖量の向上を目標として設定した3経営体(1営農集団2経営体含む)、馬鈴しょの製品率向上を目標として設定した1経営体で未達成となっている。目標未達成となったいずれの経営体も肥培管理、基盤整備をするなど品質向上に向けた取組を実施している。しかし、てん菜の糖量の向上を目標として設定した3経営体(1営農集団2経営体含む)のうち、1経営体は輪作体系上、砂利や石の多い圃場での作付が必須で、少雨による干ばつによりてん菜の根の生育が悪く、収量が減少してしまい、更には西部萎黄病の発生により糖度も低下してしまったこと、3経営体(1営農集団2経営体含む)については、目標年度と比較して大幅に糖量を向上することができたが、コスト削減のため移植栽培から直播栽培に転換し、収量が減少してしまったためである。馬鈴しょの製品率向上を目標として設定した1経営体は、目標年度と比較して製品率は向上できたが、ラセット・皮目肥大等の生理障害が発生しているためである(なお、てん菜の未達成経営体のうち、1経営体はてん菜の作付計画の見直しにより当初予定していた本事業を活用した育苗ハウスの導入を取りやめており、現在てん菜の生産は行っていないため、未達成経営体に含めていない。)

今後は肥培管理、基盤整備や丁寧な作業を今以上に実施することにより、品質向上を目指し、町、農協、農業改良普及センター、農業共済組合や日甜などで構成する「ゆとりみらい21推進協議会」が発行する営農技術情報を経営体に配布するなど技術指導を実施していくとともに、農協や普及センター等の関係機関と連携を図りながら、目標未達成理由を分析し、分析結果に基づいた技術指導を実施していくことで、目標達成を目指す。

○生産コストの削減の取組では、197経営体(7営農集団140経営体含む)で目標を設定しており、142経営体(5営農集団86経営体含む)で目標年度に目標を達成することができた。

平成27年度でも目標年度に目標未達成となった55経営体(2営農集団54経営体)は目標未達成となった。未達成となった要因としては、小麦の収穫労働時間の短縮によりオペレーター賃金の低減を目標として設定した54経営体(2営農集団54経営体)は、収穫期間の天候にも恵まれたということもあり、目標年度と比較して収穫期間を短くすることができたが、高収量によりコンバインのタンクに麦がすぐ溜まるため、刈取速度を遅くしたためである。農薬代の削減を目標として設定した1経営体は、高収益作物である人参の導入により、農薬の散布回数が増加したことともに、高額な農薬散布が不可欠であったこと、更には生育期間中の天候不順により、疫病や病害虫の防除回数が増加したためである。

今後は、本事業で導入した機械等を効率的に活用することで今以上に計画的なコスト低減に向けた取組を着実にを行い、適期作業を実施できるように町や農協、農業改良普及センターなどで構成する協議会が発行する営農技術情報を経営体に配布するなど技術指導を実施していくとともに、農協や普及センター等の関係機関と連携を図りながら、作業工程の見直しを行い、目標未達成理由を分析し、分析結果に基づいた技術指導を実施していくことで、目標達成を目指す。

○新規就農者の確保の取組については、目標年度に目標を達成している。

○雇用者の確保の取組では、7経営体で目標を設定しており、全経営体で目標年度に目標を達成している。

○家族経営協定の締結は、1年度目に最終目標である9経営体の締結を達成することができている。

○環境への配慮では、目標の206経営体で点検シートによる点検を本年度も実施した。

○本地区の経営体は、地域の話し合いにより人・農地プランにおけるモデルとなりうる中心経営体に位置付けている。また、営農集団については、集団としての中心経営体への位置付けはなされていないが、適切な人・農地プランに位置付けられた中心経営体が集まった任意団体となっている。本事業に取り組んだ経営体が主体となって、話し合いの活動の中で今後の地域農業のあり方を検討し、更なる地域農業の発展を目指していくとともに、町としても、上記の協議会を活用し、各営農状況に応じた指導を行っていく。

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、経営体育成施設整備計画書(以下「マスタープラン」という。)及び経営体調書の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I及びIIの「達成状況」欄の上段は、マスタープラン及び経営体調書にある計画を記入し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

「目標年度」欄の内容及び各年度の計画について、軽微な変更を行った場合は変更した年度の目標達成状況報告をする際、変更前の数値を上段括弧書きで記入すること。

(1) I及びIIの達成状況の達成率は、 $(\text{実績}-\text{現状}) / (\text{年度計画}-\text{現状}) \times 100$ により求めるものとする。

(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

なお、 $(\text{実績}-\text{現状}) = 0$ 、 $(\text{年度計画}-\text{現状}) = 0$ となる場合の達成率の記入方法は、以下によるものとする。

① 数値目標が漸増する場合

現状	年度計画	実績	$(\text{実績}-\text{現状}) / (\text{年度計画}-\text{現状}) \times 100$	記入方法
0	0	0	$(0-0) / (0-0) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
0	0	α	$(\alpha-0) / (0-0) \times 100 = \alpha / 0 \times 100$	皆
α	α	α	$(\alpha-\alpha) / (\alpha-\alpha) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
α	α	β	$(\beta-\alpha) / (\alpha-\alpha) \times 100 = (\beta-\alpha) / 0 \times 100$ $\alpha < \beta$	皆

(注) α 及び β は、0以外の数値をいう。

(2) 数値目標が漸減する場合

現状	年度計画	実績	$(\text{実績}-\text{現状}) / (\text{年度計画}-\text{現状}) \times 100$	記入方法
0	0	0	$(0-0) / (0-0) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
α	α	α	$(\alpha-\alpha) / (\alpha-\alpha) \times 100 = 0 / 0 \times 100$	100%
α	α	0	$(0-\alpha) / (\alpha-\alpha) \times 100 = -\alpha / 0 \times 100$	皆
α	α	β	$(\beta-\alpha) / (\alpha-\alpha) \times 100 = (\beta-\alpha) / 0 \times 100$ $\alpha > \beta$	皆

(注) α 及び β は、0以外の数値をいう。

2 IIの対象経営体の経営改善目標に関する達成状況は、マスタープランの添付資料である経営体調書に掲げた経営改善目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

なお、集落営農補助事業に取り組む場合にあつては、経営改善目標欄に目標項目及び法人形態を記入すること。

3 IIIの集落営農組織における農産物の共同販売経理状況は、融資主体型補助事業及び集落営農補助事業に取り組んでいる集落営農組織における共同販売経理の状況を記入する。

4 IVの達成状況に対する事業実施主体の所見(評価)の欄は、承認年度から4年度目にあつては、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成見込がないと判断される場合は、達成に向けた具体的な取組内容を記入すること。

また、目標年度において目標を達成していない場合は、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入する。